

注：こちらは原文（英語）の日本語訳です。解釈に疑義を生じた場合は原文である英文が優先します。<http://vendorterms.grey.com/japan/wpp-code-of-conduct-supplier.html>

WPP ビジネス行動規範 – サプライヤー向け

WPP 及びその傘下企業は世界中の多くの国や市場で事業を展開しています。あらゆる場合において、国内の法律及びその他国際法、英国贈収賄禁止法、アメリカ合衆国の連邦海外腐敗行為防止法を含めた関係法令及び業界行動規範を尊重いたします。事業のあらゆる側面において倫理的な行動を徹底し、常に正直且つ誠実な対応に努めます。

サプライヤーを含め、すべてのビジネスパートナーに対して、同じ倫理基準を遂行するようお願いしたく、当社のビジネス行動規範（左欄）ならびに、WPP 以外の事業体向けに追記した箇所（右欄）をご確認ください。

全サプライヤーに対して、これらの基準に基づき適切なシステムでコンプライアンスの実施及び監視を行っていただき、国内の法律及び関連する国際法を遵守するようにお願い致します。

この行動規範の原則を遵守し業務を遂行すること、そしてサプライヤーの業務に関連する環境、健康及び安全、労働基準及び倫理にかかわるリスクを識別する継続的なリスクマネジメントプロセスを設けるよう求めます。

サプライヤーは、従業員が脅迫や報復を恐れることなく懸念を報告するよう奨励してください。サプライヤーは、必要に応じて適切な対応を行うようにしてください。

サプライヤーは、自社のサプライチェーンにおいて、この規範と同等の基準を整備していただくようお願い致します。

WPP の規範	WPP がサプライヤーに期待すること
私たち、WPP グループ（当グループ）のすべての役員および従業員は、株主、クライアント、従業員、およびサプライヤーを含め、成功に関与するすべての人に対する責務を認識する。	サプライヤーは、当社の責務を認識し、これらの責務を妨害するような行動をとってはならない。
当社の事業に関する情報は、差別なく、現地の規制に従って明確かつ正確に伝達されるものとする。	WPP グループに関する情報の取り扱いについて、規範に記されたとおりに行う。
社員の採用、昇格に際し、人種、宗教、出身国、肌色、性別、性的指向、性同一性または表現、年齢または障害の有無に対する差別や懸念することなく、能力と実績に基づいて行う。	サプライヤーの組織に同等のポリシーが設けられている。

WPP の規範	WPP がサプライヤーに期待する事
<p>当社は職場環境を安全で教養に溢れた場所と捉え、雇用に自由があるべきと考える。セクハラ、差別、いかなる攻撃的な行動：継続的な個々への暴言や暴力、気分を害する情報・資料の表示や配布、WPP 又はクライアントオフィスの敷地内での武器の使用や所持を認めない。</p>	<p>同等のポリシーがサプライヤーの組織内及びサプライチェーンに設けられ、説明した内容の通り当社の職場と従業員の体制を理解し、尊重する。</p> <p>特に以下の項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> • 雇用は自由であるべき。強制労働、役身折酬その他いかなる近代奴隷にあたる雇用は決してあってはならない。 • 労働条件に雇用者のパスポート、政府発行の身分証明書類の強制的な提出を求めてはならない。 • 児童労働を認めない • 報酬は労働法に基づいて適切に支給されること • 週間労働時間は現地法で定められている上限を超えない事 • 非人道的行為：セクハラ、性的虐待、体罰、強要、暴言を認めない • WPP はサプライヤーに全ての従業員への安全な職場環境の整備と促進をすること求める。 • 従業員を物理的危険に極力さらさない環境の完備と制御。 • サプライヤーは緊急事態発生の際に従業員に向けた適切な手順を設けていること。 • 業務上に発生した怪我や体調不良を把握し管理できる仕組みが整備されていなければならない。
<p>違法ドラッグの使用、所持、配布、又は麻薬・アルコールを使用しての勤務は容認しない。</p>	<p>同等のポリシーがサプライヤーの組織内に設けられ、説明した内容の通り当社の職場と従業員の体制を理解し、尊重する。</p>
<p>グループビジネス及び顧客に関わる全ての情報は機密情報として取り扱う。「インサイダー取引」を固く禁じ、個人的利益の為に機密情報を悪用してはならない。</p>	<p>当社からの情報に基づき、当社のポリシーに同意する。</p>

WPP の規範	WPP がサプライヤーに期待する事
消費者、クライアント、従業員データを国内法、業界の規範に基づいて守る義務がある。	当社のビジネス及び、そのビジネスに関わるパートナー企業から得た、または関連する情報を網羅する、同等の義務が規定されている。
一般常識的に攻撃ととられるような発言、提案、イメージを意図的に用いた作品制作はしない。当社が手がける作品が、人種、宗教、国籍、肌色、性別、性的思考、性同一性、表現、年齢、障害有無など、いかなる社会的少数者への影響についても十分配慮する。	該当する場合には、職場に同等の基準が設けられている。
意図的に誤解されるような業務には関わらない。社会、環境、人権問題に関連することを含む。	適切な範囲で職場に同等の基準が設けられている。
クライアントや作品により、当グループの評判が損なわれかねない可能性について事前に熟慮する。人権侵害に加担する顧客との関係からくる風評被害も含まれる。	WPP グループのメンバーのみに適用。
個人や家族の利益のために、直接的または間接的に、当グループ内の企業と競合する行動や、それらの企業の義務と相反するような行動は取らない。	WPP グループのメンバーのみに適用。
政府関係者、取引先、仲介業者やその代表等を含む第三者間による、もしくは第三者に対する、現金もしくは他の形での賄賂の提供、提案または受領の一切の行為をしない。トレーニング、情報配信、手本を示すことによって、従業員全員がこのポリシーを理解するよう徹底する。	サプライヤーに直接適用される。
ビジネス確約を目的とした個人的な贈り物の提供は一切しない。但し、これは適切な接待や、時折発生する常識的な範囲での贈答品の提供を規制するものではない。但し、相手側がこれらを禁止するポリシーを有しない場合に限る。	サプライヤーに直接適用される。

WPP の規範	WPP がサプライヤーに期待する事
<p>個人の利益の為にサプライヤー、サプライヤー候補もしくは第三者からの常識の範囲を超える贈答品やサービスは一切受け取らない。</p>	<p>サプライヤーに直接適用される。</p>
<p>当グループの業務内、もしくは取引のあるサプライヤーや第三者との間で、個人的もしくはその家族への利益相反が起こらないようにする。</p>	<p>サプライヤーの組織に同等のポリシーが設けられている。</p>
<p>WPP 取締役会からの書面での事前承諾がない限り、サービスや物品を市場価値以下の価格で提供することを含む、政治家、政党や実行委員会に対する、いかなる企業献金を認めない。</p>	<p>サプライヤーに同様の献金等に関するポリシーと適切な承認プロセスが設けられている。</p>
<p>以下を遂行することにより、社会と環境に積極的に継続的な貢献をしていく： 高いマーケティング倫理観の維持、業務、サプライチェーンやクライアント作品における人権の尊重、環境の尊重、地域活動の支援、従業員育成のサポート、サプライチェーンの持続可能性を脅かす重大なリスクの制御。この項目に関する当グループの取り組みについての詳細は、サステナビリティポリシー及び人権ポリシーに関する書類に記載されている。</p>	<p>サプライヤーの組織に同等のポリシーが設けられている。</p> <p>特に以下の項目：</p> <ul style="list-style-type: none"> • サプライヤーは英国現代奴隷法で定められた要件を遵守すること。 • サプライヤーは廃棄物、排出物を含め、関連する環境認証すべてを取得していること • サプライヤーは、リサイクル、再利用、資源の代用等により、施設やプロセスにおいて環境保全措置を取り、環境への配慮とその努力を心がけること。



サプライヤー向けに定められた **WPP** の行動規範を遵守致します。もし何等かの違反を見つけた場合、特に賄賂や、御社または第三者間での不適切な贈答品やサービスの提供や受取、もしくは **WPP** の評価の損失に直接または間接的につながるような事態が見受けられた場合、速やかに報告致します。

御名前

御社名

部署

御署名

日付.....